

科目ナンバー	GES-1-002-ky			科目名	男女共同参画論		
教員名	前田 由美子			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	性別による異なった生き方が私たちの社会には存在する。その生き方は主に2通り。しかし、人間が2通りの生き方しか持たないはずはない。そんなはずはないのだが、実際にはそうなっている。なぜか。この講義では、社会に当然のようにある性別による秩序を「なぜ、そうなっているのか」「なぜ、そうならなければならないのか」を、今までと異なる視点で考える。それによって、その考え方やルールや制度の成り立ち・社会背景を明らかにしていく。さらに、性別による制度(当然のように考えられているしくみ)、たとえば、役割担当の決め方や社会的評価や扱われ方などを調べ、その問題を考える。恋愛の制度・結婚という制度にある課題、育児の問題、夫婦の関係性、働く男性や女性の問題、親しい間柄の暴力、性別に関連するハラスメントなど、どのようにしたらそれら問題が解決されるのか、つまり、どこをどのように変えれば、性別にかかわらず誰もが幸せになれるのか。その道筋を考える。						
到達目標	すでに経験してきた問題、今悩んでいる問題、今後高い確率で遭遇するであろう問題、身近な人が体験するかもしれない問題など、個人的な、しかし、きわめて社会的な構造的な問題を取り上げる。親世代の経験と、現代のそれはかなり様相が異なっている。学びで手にした知識を生かして、恋愛も、誰かとの「結婚」も、パートナー関係も、育児も、仕事も「こんなはずじゃなかった」とならない人生設計をしてほしい。社会にある性別による不合理を見抜く力が獲得できるはずである。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	基本は講義であるが、テーマによって少人数グループでの議論、あるいは現状について取材しレポートを作成することもある。毎回あるいは数週単位でさまざまな分野別テーマを設定する。そのテーマについての意見や疑問には随時解説と回答をする。必要に応じて、映像資料を利用し解説する。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング	○	課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	真摯な学びの姿勢、他者との積極的な意見交換ができること、レポートをしっかりと書くことを求める。						
アセスメントポリシー及び評価方法	テーマごとのショートレポートや質問へのリアクション、授業内レポートで約40%、学期末レポートで約60%、両者から総合的に評価する。						
教材	教材は毎回資料などを配布する。視聴覚教材も利用する。						
参考図書	『子育てと出会うとき』大日向雅美『新版日本のフェミニズム7 表現とメディア』『父子家庭を生きる』春日キスヨ『男性介護者白書』津止正敏・斎藤真緒『男らしさという病?』熊田一雄『愛する、愛される』山口のり子『現代女性の労働・結婚・子育て』橋本俊詔ほか、多数あるので授業で紹介する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	講義全体についての説明性別に関する諸問題の全体像についての説明						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	性の多様性生き方の数と、性のとらえ方について、その関連の不合理について。生物としての性と、社会制度としての性について。						
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくこと					時間数	0.5
3週目							
授業学修内容	性別による制度化(どのようにして性別による制度化が進んできたのか)現在の社会を性別視点で見ると、どのような偏りが見えるか。社会にある具体的事例から考える。						
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくこと					時間数	0.5
4週目							
	経済社会と性別秩序 経済と性別役割のつながり 経済合理性と性別役割を結ぶ論理経済社会の要請と、性						

授業学修内容	別による生き方の固定の実態とそこにある問題		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
5週目			
授業学修内容	子どもと女性(「子育ては女性が」という文化の中で)①経済状況と子育ての関連それをめぐる現在に至る「言説」について		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
6週目			
授業学修内容	子どもと女性②育児と女性の生き方経済と育児と女性の関連それらを結びつけてきた論理についてまたそれによる女性と子どもをめぐる問題		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	労働と男性男性問題としての労働過労と精神的問題		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	子どもと男性(「子育てと女性」という文化の中で)①父親になることの困難にはどのようなものがあるか「母親と子どものつながり」が主流の文化の中で		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
9週目			
授業学修内容	子どもと男性②男性がシングルで子どもを育てるということ「子育ては母親がやるもの」という文化の弊害「結婚」「夫婦」を考える		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	女性と労働①なぜ、女性労働問題があるのか。さまざまな格差や差別制度化された差別のしくみ		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	結婚をめぐる問題経済と結婚「婚活」の課題「結婚して育児する」スタイルと条件		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	セクシュアル・ハラスメントセクシュアル・ハラスメントとは何かなぜ、起こるのか。どう防げるか。		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	ドメスティック・バイオレンスドメスティック・バイオレンスとは何かなぜ、起こるのか。どう防げるか。性別にかかわらず生きやすい社会のために		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	メディアからみる性別文化「当たり前」は本当に当たり前か?子どもの番組にみる性別セクシュアル・ハラスメントの側面から、何がわかるか		
授業外学修内容	授業前に資料(文献資料)を読んでもくること	時間数	0.5
15週目			
授業学修内容	まとめ性別にかかわらず生きやすい社会のために課題について考える		
授業外学修内		時間数	

容			
上記の授業外学修時間の合計		6.5	
その他に必要な自習時間		83.5	

Number	GES-1-002-ky	Subject	Theory of Gender for an Equal Society		
Name	前田 由美子 (Maeda Yumiko)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>There are different ways of living by gender in our society. But there are mainly two ways of life. However, humans can not have only two ways of life, that is actually the case. In this lecture, think about the order by gender in society. You will clarify the way of thinking, the formation of rules and institutions, and social background. Furthermore, we examine the system by gender (rule and role considered as natural), for example, how to decide role assignment, social evaluation and how to handle, and think about that problem. Such as issues in the system of marriage, problems of childcare, relationships of married couple, problems of men and women working, violence of close relationships, harassment related to gender, etc. are resolved. How can we change and how will everyone become happy ?</p>				